

第七十九回帝國議會
衆議院

米穀需給調節特別會計法中改正法律案委員會會議錄(速記)第十回

付託議案(審査終了ノモノヲ除ク)
獸醫師法第二條ノ臨時特例ニ關スル法律案(政府提出 貴族院送付)
(第七五號)
明治四十五年法律第二十一號中改正法律案(臘虎臘獸獵獲禁止ニ關スル件)(政府提出 貴族院送付)
(第七六號)

會議

昭和十七年二月五日(木曜日)午前十時十八分開議

出席委員左ノ如シ

委員長 三善 信房君

理事岩瀬 亮君 理事古田喜三太君

理事濱地 文平君 理事松浦 伊平君

理事森田重次郎君 理事森 幸太郎君

理事前川 正一君 理事松本治一郎君

安倍 寛君 岡田喜久治君

川島正次郎君 北 勝太郎君

長野 長廣君 高田 耘平君

土田 莊助君 坪山 德彌君

成島 勇君 西川 貞一君

松浦周太郎君 松田喜三郎君

村上 國吉君 大島 寅吉君

田代 正治君 林 讓治君

富吉 榮二君 平野 力三君

同月四日委員北原阿智之助君辭任ニ付其ノ補闕トシテ長野長廣君ヲ議長ニ於テ選定セリ

出席政府委員左ノ如シ

農林次官 三浦 一雄君

農林省總務局長 重政 誠之君

農林省農政局長 岸 良一君

農林省山林局長 井出 正孝君

農林省水產局長 平岡 梓君

農林省資材部長 岡本 直人君

農林書記官 笹山茂太郎君

馬政局長官 栗屋 仙吉君
拓務省殖産局長 竹内 徳治君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

獸醫師法第二條ノ臨時特例ニ關スル法律案(政府提出、貴族院送付)

明治四十五年法律第二十一號中改正法律案(臘虎臘獸獵獲禁止ニ關スル件)(政府提出、貴族院送付)

○三善委員長 只今ヨリ會議ヲ開キマス——大島寅吉君

○大島委員 臘獸ノ漁獲ニ對スル法律案ニ對シテ御伺ヒ致シタイと思フノデアリマスガ、本法案ハ吾々多年ノ要望致シテ居ル所デアリマスカラ、外務省ガ腰ガ弱クテ今マデ十數年間ニ互ツテ解決出來ナカッタ

ノヲ本日茲ニ其ノ解決ヲ見マシタコトハ洵ニ欣快ニ思フノデアリマスルガ、昨日ノ同僚ノ質問ニ對シマシテ、此ノ許可ハ何人ニドウ云フ方面ニナサル積リデアルカト云フ質問ニ對シマシテ、大體會社ト云フヤウナモノニサセヨウト云フヤウナ意味ノ御答辯ニ承ツタノデアリマスルガ、而モ其ノ法人ハ日本漁業ノ子會社ノヤウナモノニサセルト云フヤウナ意味合ノ御答辯ガアツタカニ私ハ思フノデアリマスガ、果シテドウ云フ方法デハハ許可ナサル御方針デアリマスルカ、又若シモ今度出來マスル日本水產統制會社ニサセルト致シマスルナラバ、是ハ漁業デハナクテ、此ノ法律案ノ通り所謂海獸デアリ

マスルカ、是ハ假令魚デアラウト、何デアラウト、海ノ方面ノモノハ全部將來出來ル日本統制漁業會社ト云フモノニサセルト云フ御方針デアリマスルカ、此ノ點ニ付テ伺ツテ見タイと思ヒマス

○平岡政府委員 今ノ御尋ネニ付キマシテハ、昨日モ申上ゲマシタヤウニ、個々ノ企業ト云フモノヲ認メマセヌデ、中部千島ノ鑛山關係トカ、鮭、鱒、鱒ト云フ漁業關係、ソレカラ臘獸、臘虎、狐、サウ云フモノヲ皆全部統一のニ能ク矛盾シナイヤウニ調整シタイ、其ノ爲ニドウシテモ一ツノ統制會社ヲ作ツテ、ソレニ一元的ニサウ云フモノヲ許可シテ參ルコトガ一番宜イト考ヘテ居リマス

○大島委員 其ノ統制會社ヲ御作リニナルノハ結構デアリマスガ、今御計畫ニナツテ居リマスル日本水產統制會社ト云フノデアリマスガ、兎ニ角現在ノ漁業統制會社ノ中ニ御入レニナル積リデアリマスガ、是ハ又別ニ統制ノ會社ヲ御作リニナル積リデアアルカト云フノデアリマス

○平岡政府委員 今ノ御尋ネニ付キマシテハ、別ニ中部千島ダケニ一ツノ會社ヲ作リタイ、サウ云フ風ニ考ヘテ居リマス、サウシテ其ノ會社ハ、所謂水產新體制今度ハ色々機構ハ出來マスアレドモ、ソレト或ル連絡ヲ取ツテ參リタイ、斯ウ云フノデゴザイマス、水產統制會社トシテ出來ル會社ニ入

レナイデ、全ク別ニ中部千島一ツニ纏メテ一ツノ會社ヲ作ラセル、斯ウ云フ風ニ考ヘテ居リマス

○大島委員 中部千島ノコトハマダ申上ゲテ居ラスノデスガ、サウスルト御答辯ノ要旨ハ、中部千島ダケ一緒ニ臘獸、臘虎ノ如キモノヲ其ノ統制會社ノ中ニ入レテ作ラウト云フ御趣旨ノヤウニ思フノデアリマスガ、ソレハソレデ宜シウゴザイマス

次ニ伺ヒタイコトハ、此ノ漁業禁止區域ハ四十五年ノ法律ニ依リマシテ、昨日同僚田代君カラ御質問ガアツタ通り、北緯三十三度以北ハ禁止サレテ居ルノデアリマス、所デ今度色々統制サレル會社ナリ、或ハ其ノ會社ニ對シテモ何隻許可スルカ、色々ノ制限ノアルコトハ御尤モデアリマス、又ソレハ私ハ惡イトハ思ヒマセヌケレドモ、兎ニ角遠洋漁業ニ對シマシテハ、別ニ禁止區域ヲ設ケル必要ハナイデヤナイカ、特ニ繁殖保護ト云フヤウナ意味合ヒニ於テ特定ノ所ニ之ヲ禁止スルト云フヤウナコトハ必要デアリマセウガ、其ノ他ノ所ハ「アラスカ」デアラウガ、「コマンドルスキー」デアラウガ、要スルニ「アメリカ」ヤ「ロシヤ」ノ領海以外ノ大洋ニ於ケル所ハ、ドンノ獎勵シテ獲ラセルコトガ寧ロ宜イノデハナイカ、私ハ斯様ニ思ヒマスカラ、特種ノ繁殖保護ノ爲ニ必要ナ箇所以外ニ於テハ遠洋ニ於テドンノ獲ラセルト云フコトハ寧ロ獎勵ス

ルヤウナ御方針ヲ執ルコトガ、今日皮ナドノ不足ニ對シテモ宜イコトデハナイカト考ヘルノデアリマス、隨テ昨日禁止區域ハ何レ省令ヲ以テソレハ發表スルト云フ意味合ヒニ申サレタヤウニ思ヒマスルガ、若シモ省令ノ内容其ノ他ガ御差支ヘナイナラバ、此處テ御話ヲ願ヒタイ、又今此處申上ゲラレスト云フナラバ伺ハヌデモ宜シイガ、兎ニ角太平洋ニ於ケル獵獲ハ此ノ國內法ニ依ツテ制限シナイコトガ宜イノデハナイカ、斯様ニ思ヒマスルガ、政府ハドウ御考ヘデアリマスカ

○平岡政府委員 今ノ御話ニ付キマシテハ吾々モサウ云フヤウニ考ヘテ居リマス、唯制限ヲ禁止スルト云フコトニ主眼ヲ置イテヤラズニ、獲ラセル所ハドン／＼獲ラセヨウト考ヘテ居リマス、唯先程申上ゲマシタヤウニ、鮭鱒ノ漁業モヤラナケレバナラス、ヤラレルコトニナルト獵虎トカ色々ノ關係ガゴザイマセウ、ソコヲ無暗ニ獲ラセマスト、入ツテ参リマシタ獵虎ガ逃ゲテ行クトカ、鮭鱒ノ漁業ニ差支ヘガアルトカ云フヤウナコトモ亦氣ヲ付ケナケレバナリマセヌ、一般ノ御話ノヤウニ「ベリリ」ノ東ノ方トカ云フヤウナ所ハ、ヤカマシイコトハ申サナイ積リデアアルノミナラズ、積極的ニ獲ラス所ハ獲ラシテヤリタイト思ヒマス、唯他トノ色々ノ振合ヒガゴザイマシテ、繁殖保護ト云フバカリデナク、他ノ獵虎ダトカ他種産業トカ、色々ノ振合ヒデ制限ヲ受ケルコトハ已ムヲ得ナイト考ヘテ居リマス

○大島委員 モウ一ツ獵獲ノ方ニ對シテ伺ヒタイノデアリマスガ、今度ハ大洋デナイ、反對ニ沿岸ニ對スルコトデアリマスガ、四

十五年ノ法律ノ施行規則第二條ニ、千島アイヌノ人ハ帝國ノ海岸ヨリ三海里ヲ超エザル範圍内ニ於テ、獵虎ノ獵獲ガ出來ル、而モ其ノ乗組員ハ五人以下デ銃器ヲ使用シナイト云フヤウナ「アイヌ」ハ特別ノ特權ヲ與ヘラレテ居ルノデアリマス、是ハ當時「アイヌ」ノヤツテ居ツタコトヲ思ハレテ、「アイヌ」保護ノ爲ニ斯様ナ特權ヲ與ヘラレタノダラウト思ヒマスガ、尙ホ今日ノ實情カラ行キマス、澤山是ガ南下シテ参リマシテ、例ヘバ北海道ノ噴火灣ノ方面アタリデモ幾ラデモ魚ヲ追ツテ來タヤツガ波間ノ網ナドニ引掛ルコトガアルノデアリマス、併シ從來ハ網ノ中ニ入ツタモノモ之ヲ獲ルコトガ出來ナイ、罰セラレルト云フノデ逃ガシテヤラナケレバナラナカツタノデアリマ

スガ、私ハ斯様ナ魚ヲ多ク食ベテ、魚ノ繁殖ニ害ガアル、殊ニ此ノヤウナ網ニ引掛ツタ、或ハソコ等ニ出テ居ル小舟ニ乗ツタ一、二ノ者ガ撲殺ヲスルトカ云フヤウナモノニ對シマシテハ、特ニ禁止サルル必要ハナイデアラウト思ヒマスガ、今日解禁ト同時ニ、第二條ニ「アイヌ」人ニ特權ヲ與ヘラレタト同様ナ意味合ノモノヲ「細カイコト」ニ付キマシテ何等カノ制限ヲ付ケラレルコトハ必要デアリマセウ、是ハ私ハ彼此レ言フノデアリマセウ、大體ニ於テ今ノヤウナ網ニ入ツタモノ、或ハソコニ魚ヲ追ツテ來タモノヲ一頭ヤ二頭ヲ撲殺シタト云フヤウナコトニ對シマシテハ、別ニ罰スルト云フヤウナコトナシニオヤリニナルコトハ出來マセウ、之ニ付テ伺ヒタイ

○平岡政府委員 今ノヤウナ場合ハ實際問題トシテ起ルトハ存ジマス、ソレヲ見逃シテ參ルト云フコトニナリマス、折角禁

止區域ヲ設ケタリ色々致シマシテモ、制裁ノ方法ガ付カクナリマスカラ、サウ云フ點ニ付テハヤハリマダハツキリシタコトハ決ツテ居リマセウケレドモ、サウ云フコトニ付テ見逃シテ行クト云フコトニハナラナイト考ヘテ居リマス、唯「アイヌ」人トカサウ云フモノニ付テハ、前ト同ジヤウニシヨウト考ヘマスケレドモ、唯間違ツテ入ツタモノヲドウスルカト云フヤウナコトニ付テ、ソレヲ取締リテ緩和致シマスト色々ナ弊害ヲ生ジマスルカラ、其ノ點ハ嚴重ニヤツテ行キタイト考ヘテ居リマス、マダ細カ

イコトハ決定致シテ居リマセウ

○大島委員 私ノ間ハント欲スル所ハ、何モ僅カノコトデアアルカラ見逃セト云フ意味デ申スノデアリナイノデアリマス、所謂四十五年ノ法律ノ第二條ニ「アイヌ」人ニ特權ヲ與ヘラレテ居ルト同ジヤウニ、魚ノ繁殖等ニ付テ害ニナルヤウナ時ニ於テ、今ノ取締上ニ於テハ幾ラモ方法ガアラウト思フ、現ニ「アイヌ」人ト雖モ銃デ以テ獲ルコトハ出來ナイ、撲殺程度ノモノナラバ宜シイト云フヤウナ意味合ニナツテ居リマスカラ、斯ウ云フヤウナコトカ、或ハ何人以下トカ云フ一種ノ取締方法ヲ御設ケニナリマスルナラバ、コンナコトハ易々タル問題ダト思フノデアリマス、殊ニ役所トシテ今日實ニ微細ノ點ニマデ各法律デ色々ノコトヲ規定サレル時ニ於キマシテ、若シモ成程是ハ沿岸ノサウ云フヤウナ程度ノモノニハ許シテ宜シイノダト云フ御方針ガ付キマスルナラバ、私ハソナ取締法位作ルノハ易々タルモノデアリ、又取締モ容易デアルト思フノデアリマス、私ハ此ノ點ハ政府ニ於キマシテ特ニ御考慮ニナリマシテ、サウシテハ

ハ

許ス、斯ウ云フ方法デ取締ル、併シソレヲ專業トスルヤウナ銃ヲ以テスルトカ、或ハ大製藥ナ方法デ獲ルト云フヤウナコトハ許サナイ、斯ウ云フ意味合ニ取締ラレンコトヲ私ハ希望致シマス、又ソレハ容易デアルト思フノデアリマス

序ニモウ一ツ伺ツテ置キマスルガ、胡濱ヤ海豹ノヤウナモノハドウ云フ風ナコトニナルノデアリマス

○平岡政府委員 海驢ヤ海豹ニ付キマシテモ、大體獵獲ニ準ジテヤツテ参リタイト考ヘテ居リマス

○大島委員 ソレデ私ハ獵獲ノコトニ付キマシテハ其ノ程度ニシテ置キマシテ、モウ少シ關聯致シマシテ、今度統制ニナリマスル所謂日本水産漁業ト云フノデアリマスカ、名前ハ何ダカ私ハ存ジマセヌガ、所謂大規模ノ統制會社ガ勅令ニ依ツテ出來ル、而モソレハ南北日本中ヲ一ツニスルノデアルト云フコトデ、且ツ又凡ルモノガ入ル、モウ鮭鱒デモ鰯デモ鮪デモ、或ハ蟹デモ、又更ニ捕鯨業ト云フヤウナモノマデ、此ノ中ニ各種ノ水産物が皆統一サレル方針デアルト承ツテ居リマスガ、私ハ地域のニ考ヘマシテモ、南北ト此ノ廣イ何千哩ニ互ル日本全部ヲ統一スルト云フヤウナコトハ、却テ不便デアアルノデハナカラウカ、少クトモ南北位ニ分ケタ方ガ宜イノデハナイカ、或ハ業種別ニ依ツテ多少御考慮ニナルコトガ宜イノデハナイカト、斯様ニモ考ヘルノデアリマスガ、政府ノ御方針ヲ承ツテ置キタイト思フノデアリマス

○平岡政府委員 今ノハ水産新體制ニ付テノ御尋ネト思ヒマスガ、ドウ云フヤウナ機構ニスルカト云フコトニ付テハ色々議論ガ

ゴザイマシテ、御話ノヤウニ鯨ハ鯨ト業種別ニ分ケタラドウカ、別ノ會社ニシタラドウカ、ソレカラ北ト南ト別々ニ北洋ハ北洋、ソレカラ捕鯨ハ捕鯨ト云フヤウニ別ノ會社ニシタラドウカト云フ色々話ガゴザイマシタガ、吾々トシテハヤハリ全部ニ纏メニ致シマシテ一元のニシタ方ガ宜シイ、勿論一元のニ致シマシテモ、其ノ内部ニハ捕鯨部ト云フヤウナモノガ出来タリ、北洋部ト云フヤウナモノガ出来マセウケレドモ、法制トシテハ一元のニシタ方ガ宜イト云フ考ヘデ、今勅令ノ作成ニ付テ進ンデ居リマス

○大島委員 私ノ聞キマス範圍ニ於キマシテハ、只今御答辯ノヤウニ進ンデ居ルサウデアリマスケレドモ、中ニハ所謂「アウト・サイダー」トデモ言ヒマスカ、私ハソレニ加入シナイト云フヤウナ意見ヲ持ツテ居ラレル者モアルト云フコトデアリマスガ、只今ノ御答辯ノヤウナ趣旨ニ依リマス、ヤハリ何處マデモ強制的ニ統一ナサル御方針デアリマスカ、之ヲ伺ツテ置キマス

○平岡政府委員 此ノ水産新體制ノ機構ヲ申シマスト少シ長クナリマスケレドモ、兎ニ角日本水産統制會社ト云フモノヲ眞中ニ作リマシテ、ソレニハ色々資本漁業、日水トカ日魯トカ「エー・ビー・シー・ディー」トアル其ノ「エー・ビー・シー・ディー」ヲ皆日本水産統制會社ト云フモノニ結ビ付ケル、結ビ付ケマスケレドモ、其ノ「エー・ビー・シー・ディー」ヲ一ツノ日本水産統制會社ニ結ビ付ケルヨリモ、或ル程度「エー・ビー・シー・ディー」ノ中デ一部分デモ纏メテ、ソレカラ一纏メニシテカラ結ビ付ケタ方ガヤリ易イト云フノデ、其ノ「エー・ビー・シー・ディー」ノ色々ノ中デ纏メラレルモノヲ纏

メテ一ツノ會社ヲ作ル、今ハマダハツキリ致シマセスガ、日本漁業株式會社ト云フコトヲ吾々言ツテ居リマスガ、「エー・ビー・シー・ディー・イー・エフ」ノ中デ「エー・ビー・シー・ディー」ト云フ纏マルモノハ「エー・ビー・シー・ディー」デ日本漁業株式會社ト云フモノヲ作り、其ノ纏マツタモノト纏マツタモノトガ日本水産統制會社ヲ作ル、ソレカラアト残ツタ「イー・エフ」ト云フモノモ直

接結ビ付ク、斯ウ云フ風ナ建前ヲ執ツテ居リマス、ドウ云フ風ニ結ビ付クカト申シマス、眞中ノ會社ヘ「エー・ビー・シー・ディー」ノ會社ガ皆金ヲ出ス 現金ヲ出シタリ船ヲ出シタリ、現物出資ヲシタリ、現金出資ヲ致シマシタリ、眞中ノ會社ニ出資スル、其ノ眞中ノ會社ハ受取ツタ現金ヲ現物出資デ出来ル、其ノ出来タ日本水産統制會社ハドウ云フコトヲスルカト言フト、色々ノ日本ノ魚類ノ需給關係ヲ考ヘテ生産計畫ヲ拵ヘ、サウシテ「エー・ビー・シー・ディー」ノ會社ニソレノ「オ前ノ會社」ハ是ダケ獲レ、オ前ノ會社ハ今年度ニダケ獲ツテ貰ヒタイ、サウ云フヤウナ計畫ヲシテ、ソレノ計畫ヲ實行スルニ付テハ船モ要ルカラ、船ハ自分ガ現物出資デ受ケタ船ヲ持ツテ居リマスカラ、其ノ船ヲ貸シテヤル、若シ其ノ貸シテヤル船デ足りナケレバ、外ノ會社カラ船ヲ徵用シテ、其ノ會社ヘ貸シテヤル、サウシテ船ハ揃ヒマスガ、油ガナクテハナラナイト云フ場合ニ資材トカ、サウ云フヤウナモノモソレニ供給シテヤル、サウシテ金ニ困ツタ時ハ水産安定資金ト云フモノヲ眞中ヘ設ケマシテ、ソレカラ金ヲ貸シテヤルト云フ建前ニシテヤツテ参リタイ、サウシテ受取ツタ其ノ「エー・ビー・シー・ディー」ノ會社

ハ、其ノ受取ツタ船ト油デ漁撈シテ、サウシテソレヲ持ツテ歸ツテ來テ、日本水産統制會社ヘ渡スト、日本水産統制會社ガソレヲ餘所ヘ賣ルト云フ風ナ建前ニ致シタイ、一寸簡單デ分ラナイデセウガ、大體ソナ建前デアリマス

○大島委員 サウ致シマス、日本水産統制會社ト云フモノハ一ツノ統制機關デアツテ、サウシテ其ノ下ニ「エー・ビー・シー・ディー・イー・エフ・ジー」ノ各「ブロック」トカ各會社ハ、各自自己ノ經濟ト言ヒマスカ、自己ノ計算ニ於テ、損益ニ於テ獨立ノ營業ヲスル、斯ウ云フ意味合ニナルノデアリマスカ、其ノ點ハドウデスカ

○平岡政府委員 其ノ「エー・ビー・シー・ディー」ノ會社ハ詰リソレヲ本位ニシテ考ヘマス、自分ハ眞中ノ會社ニ現金ヲ出資シタリ、持ツテ居ル船ヲ出シタリシテ、サウシテ逆ニ愈々漁獲ヲスル時ニハ日本水産統制會社カラ船ヲ借りタリ、ソレカラ色々金ノ要ル時ハ助ケヲ受ケタリ、資材ノ供給ヲ受ケタリシテ、ソレニ基キマシテ御話ノヤウニ自分ノ危險ト計算ニ於キマシテ漁獲ヲ致スノデゴザイマス、是ハ獨立デゴザイマス

○大島委員 ソレナラバ大體分リマシタ、サウシマス日本ノ國內ニ於ケル從來ノ議論ニ徴シマシテモ、今ノ「カムサツカ」ナドノ漁業、是ハ「ソウイェト」ノ領土、外國領土デアリマスガ、斯ウ云フモノモヤハリ同様ノ意味合ニ於テ一ツノ統制サレルノデアリマスカ、同ジ方法デ御ヤリニナリマスカ

○平岡政府委員 今ノ「カムサツカ」トカ、サウ云フ所デ、詰リ露領デヤツテ居ルノハドウナルカト云フ御話デゴザイマスガ、ソレハ日魯漁業ナドガ問題ニナルノデゴザイ

マスガ、ソレモ私ノ方トシテハ建前上「エー・ビー・シー・ディー」ノ中ノ一ツデゴザイマスカラ、ヤハリ眞中ノ會社ヘ外ノ會社ト同ジヤウニ結付クノデゴザイマス、唯一時取纏メマス日本漁業會社ニ入レルカ入レナイカハ別問題ト致シマシテ、兎ニ角眞中ノ會社ニ外ノ會社ト同様ニ結付クノハ同ジデゴザイマス

○大島委員 サウシテ各自自己ノ計算ニ於テト云フコトデアリマスルカラ、サウ致シマス實際ノ着手ニ於キマシテハ從來ト私ハ大差ガナイカノヤウニモ考ヘラレマスガ、統制ノ上ニ於テハ統制會社ガ十分ニソレゾレ統制スルガ、各自ノ漁撈ニ對シテハ非常ナ相違ハナイト云フヤウナ工合ニ考ヘテ差支ナイノデゴザイマスカ

○平岡政府委員 漁獲ニ關スル限りハ御説ノ通りデアリマス

○大島委員 更ニ御伺ヒ致シタイノハ、大體今ノ資本漁業トデモ申シマスカ、日魯トカ日本水産トカ云フヤウナ大キナ漁業家ヲ目標トシテ統制サレルノデアリマスガ、同ジ資本漁業ノ中ニモ、斯ウ云フモノニ比較スルト小サイモノモアル、要スルニ從來ノ張網漁業ト申シマスカ、北海道ニモアリマス鯨或ハ鰻等ノ建網、或ハ内地ノ鮪ナドニ對シテノ建網ト云フモノハ、是ハ皆一ツノ小資本ノ資本漁業ノ中ニモ入ルノデアリマスルガ、斯ウ云フモノハ政府ハ統制會社ニ入レラレヌヤウニ聞イテ居リマスガ、將來又入レラレル御考ヘデアリマスカ、又今日ハドウ云フヤウナ方針ヲ以テオイデニナリマスカ、此ノ點ヲ一ツ御伺ヒシタイ

○平岡政府委員 沿岸漁業ニ付キマシテハ、又一ツ全ク別ノ方法デ統制シテ参リタイト

思ヒマス、先程御話致シマシタノハ遠洋ノモ
ノヲ主ト致シタノデアリマシテ、沿岸ノモ
ノニ付キマシテハ、別ノ方法ノ立テテヤツ
テ行キタイト思ヒマス

○松浦(周)委員 一寸會社ノ問題ニ付テ關
聯シテ……只今大島委員ノ質問致シテ居リマ
ス日本水產株式會社ヲ作ルト云フ御話ニ付テ
デゴザイマスガ、昨日私ノ質問致シマシタ中
部千島ノ開發ニ對スル鮭、鱒、鰻、蟹、鮫ト云
フヤウナ魚族ノ漁獲ニ付テハ、昨日ハ長官モ
アノ地方ニ一ツノ會社ヲ作ルト云フコトデ
アリマシタガ、其ノ會社ガ今ノ日本水產株
式會社、所謂水產新體制トナタガ仰シヤ
ル會社ノ株ニ付テ、ソコニ緊密ナル連絡ヲ
執ツテ行クノカ、或ハ日本水產株式會社ト
云フ政府ノ考ヘテ居ル全部ヲ統制スル會社
ノ中デ、中部千島ヲ經營シテ行カレノカ、
其ノ點ヲ一點御伺ヒシタイノデアリマス、
ソレカラ昨日私ハ、斯ウ云フ全體ノ統制
ヲスルニ當リマシテハ公益法人デナケレバ
イカス、營利法人デハドウシテモ獨占事業
デアツテ、營利法人デアルト云フコトハ洵
ニ不合理ダ、今ノ國策會社ノ失敗ハ其ノ點
ニアルト云フコトヲ質問致シマシタガ、之
ニ對シテ當局ハハツキリ答辯致シテ居リマ
セヌ、今度ノ水產新體制ノ會社ト云フモノ
ハ是ハ公益法人デアルカ、或ハ營利法人、
今ノ營利團體其ノ儘ノ統制ダケデアルカ、
或ハ商工省ノヤツテ居リマス所ノ統制會社
ノヤウナモノデアルカ、其ノ性格ヲハツキ
リ此ノ際御發表ニナツテ戴キタイト思ヒマ
ス

ナモノヲ作リマシテ、ソレヲ日本水產統制
會社ト何カノ形デ連絡ヲ執ルヤウニシタ
イ、斯ウ考ヘテ居リマス、ソレデ中部千島
ノ開發ニ付テ獨立ノ一ツノ會社、詰リ片手
間ニシナイデ、其ノ中部千島ノ開發其ノモ
ノ爲ニ一ツノ會社ヲ拵ヘタイ、其ノ會社ト
其ノ水產統制會社トドウ云フ風ニ結付キマ
スカ、資本的ニ結付キマスカ、何カノ形ニ
於テ結付ケテ參リタイト考ヘテ居リマス

第二ノ其ノ會社ノ性格、ソレヲ公社ミタ
イナモノニシタラ宜イデヤナイカト云フ御
尋ネニ付キマシテハ、マダ其ノ性格ニ付キ
マシテハ、ハツキリシタ御答ヘテ只今ノ所
ハ致シ兼ねマスガ、御趣旨ノ點ハ十分考ヘ
テ居リマスカラ、成テケ御趣旨ニ副フヤウ
ニヤツテ參リタイト考ヘマス

○大島委員 沿岸漁業ニ對シマシテハ取締
ヲ別ニスル積リデアルト云フ御話デアリマ
スガ、是ハ同ジ沿岸漁業ノ中ニ於キマシテ
モ、其ノ附近ニ於ケル小漁民ノヤル漁業ト、
資本系統ニ依ル所謂建網漁業者ト云フヤウ
ナモノハ一ツノ資本漁業ノ中ニ入リマス、
或ハ又專網漁業ト云フヤウナモノモサウナ
ツテ參ルノデアリマスガ、斯ウ云フモノニ
對シマシテハ何カ取締ノ御方針ガアルヤウ
ニ只今仰セニナリマシタガ、大體御分リニ
ナツテ居ル點ガアリマスカラ此ノ際伺ヒ
タイト思ヒマス

○平岡政府委員 沿岸漁業ニ付キマシテハ、
今案ヲ研究中デゴザイマスガ、水產組合ト
カ漁業組合トカ、サウ云フ團體ノ整理ヲシ
テ、サウシテ横ノ問題ハ又別ニ何カ特殊ノ
考ヘテ致シマシテ、主トシテ團體ノ系統的
ナ組立デヤツテ參リタイト考ヘテ居リマス

○大島委員 昨日同僚カラノ質問ニモアリ

マシタガ、中部千島ノコトニ付テ尙ホ伺ツ
テ見タイト思フノデアリマス、今回中部千
島ヲ開放ニナルニ付キマシテ、アノ沿岸ノ
漁業ハドウ云フ工合ニ經營サレルカ、只今
會社ニ經營ヲ許可スル積リダト云フヤウナ
御方針ノヤウニ承ツタノデアリマスガ、其
ノ漁業ハ北千島ナドニ於ケルヤウナ、建網
漁業ト云フヤウナ工合ニヤラセル積リデア
リマスカ、一種ノ資本漁業ノヤウナ經營方
針デオヤリニナル積リデアリマスカ、又ハ
小漁民ガアソコデ色々沿岸漁業ヲヤリ得
ルヤウナ方法デ、アノ漁業ノ開發ヲナサル
御積リデアリマスカ、其ノ實際ニ對スル漁
業方針ヲ伺ヒタイト思ヒマス

○平岡政府委員 今ノ問題ハ先程申上デ
マシタヤウニ會社ヲ作ツテヤラセタイ、其
ノ會社ノ性格ニ付キマシテハ、今松浦サ
ンカラ色々御註文モゴザイマシタガ、大體サ
ウ云フ風ニヤツテ參リタイト考ヘテ居リマ
ス、唯零細ナ漁民ト云フヤウナモノニ付テ
ハ、其ノ會社ノ仕事ヲ下デサセルトカ色々
ナ方法ニ依ツテソレハ生カシテ行ク途ハア
ルト考ヘテ居リマス

○大島委員 ソレハ大體會社ニヤラセルト
云フコトデアリマスガ、是ハ大分問題ノ、
考ヘ方違フノデアリマス、若シモ北千島ニ
於ケルト同ジヤウニ、建網ノヤウナモノダ
ケラ許スト云フコトニナリマスト會社ナラ
會社ノ損得ニ關スル事業ニナツテ來マスガ、
サウデナク住民ヲ成ベクアソコニ移住サセ
ルヤウニシ、サウシテ中部千島ノ凡ユル開
發——北海道ガ漁業ニ依ツテ先ニ開ケタト
同ジヤウニ、先ツ開發セントスルナラバ沿
岸住民ニドウ云フ權利ヲ與ヘル——權利ト云
ツテモ私ハ從來ノ組織ゴロノヤウナ連中、

遊ンデ居ツテ漁業權ダケ取ツテ、ソレデ頭
ヲ刎ネルト云フヤウナ意味合ノ權利ヲ言フ
ノデハアリマセヌガ、此ノ永住住民等ニ對
シテ、特權ヲ與ヘテ開發スルト云フコトガ
非常ニ大切ナコトデアラウト思フノデアリ
マス、斯様ナ意味ニ考ヘマス、私ガ問ハン
ト欲スル所ハ、ドウ云フ風ニ開發ヲナサル
ノカ、從來ノヤウニ北千島ニ於ケル建網ダ
ケヲ一部ノ者ニ許スト云フヤウナ御方針デ
ハ彼處ノ開發ハ旨ク出來ヌデヤナイカト考
ヘルノガ、此ノ質問ヲナス所以デアリマス

○平岡政府委員 建網ダケヲ一部ノ者ニ許
スト云フ御質問ハドウ云フコトデスカ、ハ
ツキリ分リマセヌガ……

○大島委員 北千島ニハ住民ガ餘リ居リマ
セヌカラ、沿岸ノ漁業モ開ケテ居リマセヌ
ガ、現在沿岸ニ於ケル建網ガ許可ニナツテ
居ルコトハ御承知ノ通りデアリマス、サウ
云フヤウナ工合ニ中部千島モ——建網ト云
フモノハヤハリ定置漁業デアリマシテ、何
間距離トカ、何百間距離トカ云ツテ一定ノ
建網位置ヲ選定致シマス、サウシテ許可
ニナツタ一部ノ者以外ハ其ノ漁業權ノ行使
ガ出來ナイ、許可サレタ者ハ所謂勞働者ヲ
頼ンデ來テ、其ノ季節ニ行ツテ漁業ヲスル
ダケデアリマスカラ、ソコデ從來モ權利ト
云フモノガ起ツテ來テ、建網ヤ其ノ他色々
ノ漁業權ヲ取り、出願一本デ許可ヲ取レバ、
ソレガ何万圓カデ賣出出來ルト云フコトニ
ナツテ、漁業其ノモノニハドウカ知ラス
ガ、一般ノ土地ノ開發ト云フコトニ對シテ
ハ貢獻ガナイノデアリマス、ソコデ若シ中
部千島ト云フモノヲ凡ユル方面カラ連絡的
ニ、ソレハ彼處ニハ礦物モアルシ、養蠶業
モヤツテ居リマスカラ、今後開發ニ付テハ

色々オヤリニナル御計畫モアルコトト思ヒ
マスガ、兎ニ角アノコヲ開發シヨウト云フ
ニハ、總體的ナ考ヘヲ持ツテ、丁度北海道
ガ漁業ニ依ツテ開發サレタヤウニ、アソコ
ヘ小漁業家ヲ許シテ入レルヤウニスルコト
ガ難ヲ許シテ入レルヤウニスルコトガ、
眞ニ中部千島開發ニ貢獻スル所以デハナイ
カト思ヒマス、ソコデアナタハ從來北千島
ニ御許シニナツタヤウニ、單ニ定置漁業ノ
ヤウナモノヲ或ル者ニ許可スルカ、或ハ
或ル者デナク、會社ナラ會社デモ宜シイガ、
其ノ會社ト云フモノニ許可スルガデハ、
私ハ中部千島ノ開發ニハ餘リ效果ハナイノ
デハナイカト思ヒマスカラ、其ノ漁業ヲド
ウ云フ工合ニシテオヤリニナルカト云フコ
トヲ伺ヒタイ

○平岡政府委員 ソレニ付キマシテハ一部
ノ者ニサウ云フモノヲ許スト云フコトハ、
成べく避ケタイト、只今ノ所考ヘテ居リマ
ス

○大島委員 先程カラ仰ツシヤル會社ハ國
策會社デアリマスカ、ドウ云フモノデア
ルカ知リマセスケレドモ、之ヲ若シ營利會社
デアルト致シマス、營利會社ハ營利ニ汲
汲ト致シマスカラ、又ヤハリ勝手ナコトヲ
ヤルヤウニナルト思ヒマス、ソコデ假令ソ
レガ營利會社デナクテモ、又如何ナルモノ
デアツテモ、大體斯ウ云フ方針デ、アソコ
ノ漁業ヲヤラウト云フヤウナコトヲ御決メ
ニナツテ御許シニナラヌト、其ノ會社ナル
モノガ專横ノコトヲヤルヤウニナリハセヌ
カ、斯様ニ思フノデアリマス、殊ニ北海道
ナドハ、段々不漁ガ續イデ參ツテ居リマス
ルガ、色々ナ關係モアリマセウ、潮流ノ關
係モアリマセウ、又色々ノコトモアリマセ

ウケレドモ、斯ウ云フ北海道ノ小漁民ナド
ハ、中部千島方面マデ行キマシテ、サウシ
テ從來持ツテ居ル所ノ漁具、或ハ漁船
漁船ト言ヒマシテモ小サイホンノ三羽船ノ
ヤウナモノデアリマスルガ、斯ウ云フモノ
ヲ使用シ、又從來自分達ノ經驗アル者ヲシ
テ中部千島ノ漁業ノ開發——漁業ノ開發ト
言フヨリハ寧ロ中部千島ノ開發ニ努メサセ
ルト云フヤウナコトガ、是ガ北海道ノ小漁
民ヲ救フノミナラズ、國家的ニモ大切ナコ
トニモナラウカ、斯様ニ私ハ考ヘマスルガ
故ニ、單ニ此ノ會社ヲ以テヤラセルト言ハ
レテモ納得ガ出來ナイノデアリマス、ソレ
デドウ云フ御方針デ此ノ漁業ノ開發ハオヤ
リニナルカト云フコトヲ私ハシツコク御伺
ヒシテ居ル譯デアリマス、之ニ對シマシテ
ハ政府ハドウ云フヤウニ御考ヘヲ御持チニ
ナリマスカ、北海道ノ現在ノ小漁民等ニハ
出來ルダケ——餘リ會社ニ特權ヲ持タセナ
イヤウニ、サウシテ會社ニ專横ヲサセナイ
ヤウニ、サウシテ雜漁ニハ特ニ便宜ヲ與ヘ
ルト云フヤウナ御考ヘデアリマスヤ否ヤ
伺ツテ置キタイト思ヒマス

○平岡政府委員 今ノ御話ニ付キマシテ
ハ、先程松浦サンカラモ度々私ノ一口ニ會
社ト申シマシタモノノ性格ナドニ付テノ色
色御問ヒガゴザイマシタガ、私共トシテモ
此ノ會社ハ勿論國策的ナ會社ニ致シタイト
考ヘテ居リマスガ、ソレガ公社ニナルカド
ウカ、サウ云フ性格トカ機構ニ付テハマダ
確定決定ハ致シテ居リマセヌガ、其ノ運用
ナドニ付テモ十分氣ヲ付ケテ參リタイト考
ヘテ居リマス、許可ノ具體的ノ方針ニ付キ
マシテハ、只今マダ御話スルマデノ時機ニ
達シテ居リマセヌ

○大島委員 モウ一ツ伺ツテ置キマス、是
ハ小漁業ニ對シテ御參考マデニ私ノ方カラ
申上ゲテ置キマスガ、從來鮭鱒ノ沖取ニ對
シマシテハ單航船ト云フヤウナモノデ獲ラ
シテ、サウシテ之ヲ沖取業者ノ製造會社ヘ
鮭鱒ヲ賣ツテ居ルノデアリマス、之ニモ
弊害ガアツテ、單航船ノ許可ヲ得レバ
許可權ヲ一萬圓トカ二萬圓トカ賣買シタ
ト云フヤウナコトデ、是ハ良イ方法ダト云
フケレドモ、アア云フ風ナ大キナヤリ
方ニシテハ宜クナイカモ知レマセヌガ、或
ハ沿岸ノ小サイ漁民ニヤラセルト云フコト
デ成べく沿岸漁民ヲ保護シタルト云フヤ
ウナ御方針デオヤリニナリマスルナラバ大
變利益ナ方法デハナカラウカ、私ハ斯様ニ
思フノデアリマスガ、大體最後ニ私ガ申上
ゲマスルノハ、丁度米ニ對シマシテハ所謂
自作農ト云フヤウナモノヲヤカマシク獎勵
サレテ居ルコトハ私申上ゲルマデモナイノ
デアリマス、所ガ漁業ニ對シマシテハ、所
謂土地ニ對スル自作農トデモ申シマスカ、
小漁民ヲ保護サルコトガ洵ニ私ハ薄イヤ
ウニ考ヘラレルノデアリマス、ソレハマア
一ツハ陸ノヤウニキチツト區域ガ出來テ居
ナイ點モアルカモ知レマセヌケレドモ、兎
ニ角小漁民ノ保護ト云フコトガ陸ニ於テ小
作農、自作農ヲ保護サルヨリモ少イヤウ
ニ感ズルノデアリマス、無論專用漁業權ト
云フ風ナモノモ其ノ組合ナドニ附與サレテ
居ルコトモアリマスルカラ、一概ニ絕對ニ
ナイトハ私ハ申シマセヌケレドモ、比較致
シマスルトソナヤウニ思ハレルノデアリ
マス、ソコデ今ノ中部千島ノ開發ナドニ對
シマシテモ、十分ニ從來北海道ニ經驗ノア
リ、北洋ノ沿岸漁業ニ經驗ノアル、サウシ

テ又不漁デ困ツテ居リ、漁船、漁具ヲ持ツ
テ居ルト云フヤウナ者ヲ、物資ノ方面カラ
言ツテモ、大切ナ方ニ用ヒルト云フコトガ
國家的ニ有利ナコトデアリマスカラ、又經
驗者ヲ用ヒルト云フコトモ宜イコトト思フ
ノデアリマスカラ、凡ユル觀點カラ致シマ
シテ、私ハ斯ウ云フ方面ニ特ニ御考慮ヲ希
望致シマシテ、私ノ質問ヲ終リマス

○松浦(周)委員 一寸關聯シテ伺ヒタイト
思ヒマスガ、先程カラ大島サンカラノ御問
ヒノ重點ハ、北海道ノ從來ノ先住漁民、現
在ノ漁民、之ヲ抜キニシテ中部千島ノ開發
ヲシテハイケナイト云フコトガ重點ニナツ
テ居ルト思フ、ソコデ昨日モ此ノ點ヲ能ク
申上ゲタノデアリマスガ、大キナ鯨ヲ獲ル
トカ、海洋漁業、資本漁業ニ付テハ今ノ會
社式ノ方法ハ宜イト思ヒマスガ、少クトモ
沿岸漁業ニ類ス中部千島ニ於キマシテモ、
或ハ北千島方面ニ於キマシテモ、斯ウ云フ
モノハ、北海道ニ行ツテ、北海道ノ氣候風
土ト圖ツテ、北海道ノ漁撈ニ慣レタ經驗者
ヲ以テ其ノ漁撈ニ從事セシメルコトガ國策
トシテドウシテモ必要ダト思フノデアリマ
ス、併シ今新シイ漁業ヲ許ス時ニ於テ、政
府ガ國家意識ノ下ニ一ツノ統制ヲサレルト
云フコトハ、是ハ已ムヲ得ナイコトダト思ヒ
マスガ、其ノ下ノ方ノ仕事ヲスル者ガ、昨日
モ御話シマシタガ、少クトモ北海道漁聯ガ
中心ニナリマシテ、各漁聯ノ下ノ地方組合ガ
中部千島ノ必要トスル漁撈ノ數、船數或ハ
人數ト云フモノヲ各漁業組合ニ按分的ニ割付
ケテ、サウシテ其ノ漁撈ヲサセルト云フコ
トガ私ハ一番必要ナコトダト思フノデアリ
マス、所ガ個人々々ノ企業ヲ許スト云フト、
北千島ノヤウニ組織ゴロガ中間搾取ヲシテ、

實際ノ漁民ト云フ者ハ虚セラレシマフ、ソレダカラ、政府ノ息ノ掛ツタ會社ヲ作ツテ、ソレニ全部ノ權利ヲヤツテ其ノ下ノ仕事ヲサセルト云フ計畫ハ私ハ宜イト思フガ、是ガ公益法人デアリ、公社デアリ、營團デアリト云フヤウナ性質ノモノデアラナラバ、政府代行機關トシテ認メルコトガ出來マスガ、日水デアルトカ、林兼デアルトカ、或ハ日魯漁業デアルトカ云フヤウナ大資本關ガ、自己ノ利潤追求ノ觀念カラ之ヲヤルト云フコトニナリマスレバ、下ノ方ハ結局虚セラレマシテ搾取サレルコトニナルノデアリマス、ソレデアリマスカラ、個人ノ企業ヲ許スト云フノハ、其ノ末ガ資本關ニ流レテ行ツテシマフ、結局北千島ハ、羽織ゴロノヤウナ中間搾取ニ許可ヲ農林省ガ與ヘマシタカラ、ソレガ權利ヲ賣ツテ一ツノ會社ヲ資本關ニ統制サレテ、今日ハ資本關ニ依ツテ北千島ガ統制サレテ居ルト云フヤウナ結果ニナツテ居ルノデアリマス、デアリマスカラ、個人々々ニ許スト云フコトハイケナイト先程カラ水產局長ハ言ツテ居ラレマスガ、其ノ弊ハ恰モ個人ニ許スト云フ前門ノ虎ヲ追ヒヤツテモ、アトニ出來ル會社ガ利潤追求ノ會社デアルト云フコトナラバ、後門ノ狼ニヤラレルト云フコトニナリノデアリマス、デアリマスカラ從來ノヤリ方ヲ是正シテ國家意識ノ下ニ北千島及ビ中部千島ノ生産擴充ヲヤラレルト云フコトデアラナラバ、是ハ斷ジテ利潤追求デアール普通ノ會社デハ駄目デアアル、ドウシテモ公益法人デアリ、公社デアリ、營團デアルト云フモノニ依ツテ、ソレニ依ツテ舉ツテ來ルモノハ北千島方面、或ハ北海道ノ水產資源ノ培養ニ、或ハ此ノ漁村ノ福利増進施

設ヲ擴充シテ行ク上ニ使ツテ行カナケレバドウシテモナラスト私ハ思ヒマス、是ガ北海道及ビ千島關係ニ於ケルドウシテモ必要條件デアルト思ヒマスガ、今後政府ガ之ヲ御作りニナルニ對シマシテ、普通ノ國策會社、今マデヤツテ居ツタヤウナ國策會社デアラナラバ作ラナイ方ガ宜イ、ソレヨリモ北海道ナラバ北海道漁聯ニ此ノ權利ヲ與ヘ、道漁聯ガ長官ノ指揮ノ下ニ營利追求ノ觀念デナシニ、北海道ノ各種ノ生産擴充ヲナスベキ財源ニソレヲ向ケテ行クト云フコトニサレルコトガ宜シイト思ヒマスガ、モウ一通此ノ點ニ付キマシテ御意見ヲ伺ツテ置キマス

○平岡政府委員 其ノ點ニ付キマシテハ、十分御意思ノ點ハ分リマシタカラ、其ノ會社ノ統制、運用、性格ニ付テハ十分考ヘテ参リタイト考ヘテ居リマス

○北(勝)委員 中部千島ノ開發ノ爲ニ統制會社ガ出來ル、ソレハ世間デハ色々ナコトヲ臆測シテ居ル、既ニ道廳ト腐レ縁ガ出來タナコトガ北海道デ流布サレテ居ル、萬一ニモサウ云フ臆測ノ通りノモノガ將來現實ニ表面化スルコトガアツタナラバ、是ハ漁民ノ思想ノ上ニ非常ニ惡影響ガアルモノダ、斯ウ云フ工合ニ考ヘテ居ルノデアリマス、斯ウ云フヤウナ全ク新シイ從來ニ何等ユカリヲ持タナイ會社ガ出來ル場合ニ於キマシテハ、是非一ツ個人或ハ單ナル資本家ニヤラスト云フコトヲ極力避ケテ、サウシテ道漁聯ノヤウナ漁民ノ協同體ニ之ヲヤラス、之ヲ主體トシテ會社ヲ設立サセルト云フ工合ニシテ戴カナイト漁民ナルモノハ唯會社ガ出來テモ單純ノ勞働者ニナツテシマフダ

ケトナル、若シサウ云フヤウナ漁業協同體ガ主體ニナルト云フコトデアラナラバ單ナル勞働者ニナルダケデナシニ、斯ウ云フ仕事ニ對シテ責任ヲ以テ國家ノ方針通り進ムコトガ出來ル、斯ウ云フ工合ニ考ヘルノデアリマシテ、是非ハサウシタヤウナ協同體ノヤウナモノヲ主體ニシテ會社ヲ設立サレルヤウニサレナイトイカスト思ヒマス、非常ニ北海道デ今皆臆測シテ居ルノハ先程申シマシタヤウナ腐レ縁ノ出來タモノニヤラスンダ、是デヤ大變ダト云ツテ心配シテ居ルノデアリマシテ、此ノ點ニ付テ一ツ將來斯ウ云フ會社ヲ御作りニナルニ付テハ十分御考慮ニ入レテ戴キタイ、若シ何カサウ云フヤウナコトニ對シテ御考ヘガアルナラバ承リタイト思ヒマス

○平岡政府委員 其ノ點ニ付キマシテハ只今モ御答ヘ致シマシタト同ジヤウニ、十分サウ云フ弊害ノ、又サウ云フ非難ノ起キナイヤウニ致シテ参リタイト存ジマス

○三善委員長 今政府カラ秘密會ノ要求ガアラレマスカラ、此ノ際秘密會ヲ開クコトニ致シマス、政府及ビ議員以外ノ御退場ヲ御願ヒシマス

〔午前十一時十五分秘密會ニ入ル〕
〔午前十一時三十八分秘密會ヲ終ル〕

○三善委員長 秘密會ヲ閉ヂマス、公開致シマス——濱地文平君

○濱地委員 主トシテヤハリ水產方面ノコトヲ承リタイノデゴザイマスガ、南洋方面ニ於ケル漁場ノ開拓ニ付キマシテ、政府ハドウ云フ方法ヲ執ツテ居ラレカ、之ヲ承ツテ置キタイノデアリマス

次ニ今御話ニナツタ石油ノ配給ノ件デアリマスガ、私ハ三重縣デゴザイマスガ、三重縣ノ方ヘハ其ノ爲ニ特ニ來テ居ルヤウニ思ツテ居ナイノデス、是ハ三陸方面デハ配給サレタト云フコトヲ承ツテ居ルノデスガ、此ノ配給ノ方法ハ公平ニ配給サレタノデアリマスガ、一寸之ヲ承ツテ置キタイ

〔委員長退席、森委員長代理着席〕
次ニ捕鯨船ノコトデアリマスガ、北洋進出ヲ希望シテ居ル向キガ相當アルノデス、此ノ捕鯨船ノ許可ヲ一會社ニノミセラレタト云フ理由ヲ承ツテ置キタイノデアリマス、取敢ズ是ダケ御質問致シマス

○平岡政府委員 南洋ノ問題ニ付キマシテハ、作戰中デマダハツキリシタ政策ハ考ヘテ居リマセスケレドモ、御承知ノヤウニ私ノ方ノ役所ニ南方資源調査室ト云フヤウナモノヲ、拵ヘデアリマス、又水產局獨自デ色々南方ノ資料ヲ集メテ研究ヲ致シテ居リマス、併シ具體的ニドウ云フ方策ヲ執ルカト云フコトハ、拓務省方面トモ非常ニ關係ガゴザイマスノデ、今ハツキリ申上ゲル時機ニ達シテ居リマセス、重要ナ點ニ付キマシテハ重點主義ヲ執リマシテ、唯機船底曳——伊東以西ノ機船底曳、又鰯網トカ、ソレカラ樺太ヤ朝鮮カラ魚ヲ運ブ船、サウ云フモノニ重點ヲ置キマシテ配ツテ行キタイト考ヘテ居リマス

ソレカラ北洋捕鯨ノ問題ニ付キマシテハ、今三社デ一ツノ北洋捕鯨ト云フ會社ヲ作ツテ居リマスケレドモ、北洋ノ方ハ鯨トシテハ南氷洋ト違ツテ非常ニ漁場ガ狭クゴザイマスノデ、現在ノ所ハ三社デ一ツノ會社ヲ作ラシテヤラシテ居ルト云フ次第デゴザイマス

○濱地委員 鯉、鮪ノ遠洋漁業ノ統制ヲスル意味ニ於テ、會社ノ設立ヲ水產局ノ方デ要望シテ居ルヤウデアリマスガ、事實デアリマスカ、又ドノ程度マデ進行シテ居ルカ承リタイノデアリマス

○平岡政府委員 今ノ御話ハ私ノ方デ特ニ要望致シテ居リマセス

○濱地委員 水產局ノ或ル課ニ於テハ、或ル官吏ガ頻リニ之ヲ各府縣ヘ來マシテ懇懇シテ居ル事實ガアルノデアリマスケレドモ、私ハ是ハ「ガソリン」ノ問題ヤ、色々ナ人的資源ノ問題カラ云ウテ非常ニ至當ナコトデアルト思フノデアリマスガ、之ニ對シテ水產局長ノ御意見ヲ承リタイノデアリマス

○平岡政府委員 其ノ問題ハ、南方ノ鮪、鯉ノ業者ガ、水產新體制デ大キナ會社ガ出來ル、サウシテ色々ナ會社ガソコヘクツ付イテ行クト云フノデ、自分ノ方モ纏マツテ何カガツチリシタ會社デモ作レバ其ノ中央ノ會社ニクツ付イテ行ケルノデハナイカ、サウスレバ何カト便利デアリハシナイカト云フコトヲ、業者ガ考ヘテ居ルノデハナイカト思ヒマス、ソレハ確カニバラ／＼ニナツテ居ルヨリモサウ云フガツチリシタ一ツノ會社ガ出來レバサウ云フ所ニクツ付キ易クナルシ、ソレカラ色々ナ資材不足ノ時ニハ、サウ云フ會社ニナツタ方何カト便利デアラウト云フコトヲ答ヘタモノト私ハ想像致シテ居リマス

○濱地委員 最近色々統制關係ニ付キマシテ、各府縣ニ於テハ府縣ノ漁聯ガ非常ニ進出致シマシテ、營業のナコトヲ頻リニヤツテ居ルノデアリマス、ソレガ爲ニ魚商人トノ關係ガ惡化致シマシテ、配給機構ナドニ付キマシテモ面白クナイ現象ヲ見ルノデア

リマスカ、之ニ對シマシテ水產當局ハドノヤウニ御考ヘニナツテ居ルノデアリマスカ、又同時ニ此ノ漁聯ハ營業的ニ非常ニ進出シテ居ルノデアリマス、殆ド半官半民ト云フ態度ヲ以テ營業ヲ行ウテ居ルノデアリマスカ、斯ウ云フ方面ノモノニ向ツテ營業ヲ餘リニオ進メニナルト云フコトハ、ドンナモノデアラウカト思フノデアリマスカ、之ニ付キマシテ御意見ヲ承ツテ置キタイノデアリマス

○三浦(一)政府委員 今ノ點デアリマスカ、漁業組合ハ最近漁業協同組合ノ性格ヲ持ツテ來タノデアリマス、即チ生産者ガ共同施設トシマシテ生産ニ係ルモノヲ處理スルト云フコトガ生産者ノ自覺ニ伴ヒマシテ逐次發展スルト云フコトハ自然ノ歸趨デアリマスカ、又我が國ノ漁村ノ現實トシテ漁業者ト云フモノハ必ズシモ資本的ナ企業ヲ營ンデ居ル譯デハナイノデアリマシテ、是等ハ或ル程度力ヲ協セテ共同施設ヲ以テ其ノ漁業ノ經營ノ安定ヲ期スルト云フコトハ大事ナ點ガラウト思フノデアリマス、段々自覺シテ參ツテ隨テ活動ノ範圍ガ擴大シテ參ル、ソコデ色々ナ障礙ガ起ルト云フ御説デアリマスカ、此ノ魚商トノ關係等ハ最近デハ總動員法ニ依リマス魚類ノ配給統制規則等ヲ制定致シマシテ段々整備シテ參ツタノデアリマシテ、寧ろ漁聯側カラ農林省ガ生産者團體ノ正常ヲ發達ヲ考ヘズニ、逆ニ抑ヘテ居ルデヤナイカト云フ位、ニ言ハレテ居ルヤウナ譯デアリマス、是等ハ事變ニナリマシテカラ魚類ノ供給等ニ付キマシテ、ヤハリ或ル程度ノ調整ヲシナケレバナラヌ關係カラ自儘ナ販賣組織ヲサセナイト云フ風ニナツテ參ツタノデアリマシテ、決シテ放恣ナ活

動ヲサセテ居ルト云フヤウナ意味デハナイ譯デアリマス、同時ニ又營利ト云フヤウナ問題ハ、是ハ營利ヲ目的トスル團體デハナイノデアリマシテ、飽クマデモ共同施設ノ範圍ヲ出ナイモノデアリマス、隨テ此ノ兩者ノ關係ニ付キマシテハ斯ウ云フ時節柄デモアリ、其ノ間適切ナル調整ヲ執リツツ進メテ參リタイト考ヘテ居リマス

○濱地委員 是ハ農林省ノ方デハドウ考ヘテ居ルカ分リマセスケレドモ、事實ニ於テハ營業ノ自由ヲ與ヘタ場合ニ於テハ人間普通ノ性質トシテ必ズ儲ケテヤラウト云フ氣分ガ起ツテ來ルノデアリマス、責任者ガ月給取デアツテ若シ損スレバ辭メタラ宜イダケ、コトデアリマスカ、結果ノ如何ニ拘ラズ、一ツ營業的ニウントヤツテ成績ヲ擧ゲテ見ヨウ、イケナカッタラ辭メタラ宜イノダト云フヤウナ無責任ナ態度ニ依ツテヤラウトスル例ガ非常ニアルノデアリマシテ、是ハ洵ニ危險デアリマス、而モ之ニ向ツテ少シ位ノ損ハ政府ガ補助ダトカ獎勵金ヲ與ヘテ居リマスルノデ、ソレニ依ツテ穴埋ガ出來ルカラ、洵ニ簡單ニ無責任ナ商賣ガ出來ル、斯ウ云フ點カラ致シマシテ、此ノ方面ニ付キマシテハ相當能ク御考ヘヲ願ヒタイト思フノデアリマス

次ニ漁聯バカリデアリマセスケレドモ主トシテ今水產ノコトデアリマスカ、漁聯ノコトニ付テ承ルノデアリマスカ、資材配給ニ付キマシテ各府縣ニ於ケル漁聯ナドノ實情ヲ見マスルト、或ル府縣ニ於テハ政治的ニ野心ヲ持ツテ居ル人ガ漁聯ノ會長ナドヲシテ居ル場合ガアルノデアリマスカ、サウスルト、是ガ資材ノ配給等ヲヤル時ニ於キマシテ凡ユル障礙、凡ユル疑惑ト云フモノ

ガソコニ流布セラルルノデアリマシテ、洵ニ面白クナイ現象ヲ呈シテ居ルノデアリマスカ、地方ノ縣ノ水產課ナドガ、此ノ漁聯ノ仕事ニ對シテドノ程度ノ監督指導ヲヤツテ居ルノカ、又ドノ程度ノ權限ヲ法律的ニ持ツテ居ルノカ、之ヲ承ツテ置キタイノデアリマス

○三浦(一)政府委員 漁聯ト云ハズ、團體ノ職員デアリマスカ、此ノ人達ハ何カ事業ヲシテ缺損ヲ生ジタ場合ニハ、是ハ全體ノ問題ダト云フ氣分デヤラナケレバタマツタデハ各種ノ農業團體ヲ持ツテ居リマシテ、之ヲ指導監督シテ居ル、嚴ニサウ云フヤウナコトノナイヤウニ戒メテ參ツテ居ル譯デアリマス、是ガ爲ニハ各團體ノ内部ニ於キマシテモ職員ノ鍊成ト云フコトモ必要デアリマスノデ、同時ニ又不當ナル措置ヲ執ツタ者ニ付テハ團體自體ニ於テモ是ハ嚴正ナ態度ヲ以テ臨マナケレバナラヌト思フノデアリマス、農林省トシマシテモ各種團體ガ無責任ナコトヲスルヤウナコトノナイヤウニ指導シテ參リタイト考ヘテ居ルノデアリマス

ソレカラ資材ノ配給ニ付テ漁聯等ノ所謂幹部ガ色々不當ナ措置ヲスルト云フ點ガアルト云フコトデアリマスカ、是ハ何時デモ出ル問題デアリマスカ、近頃各種ノ國策的會社、統制會社等ガ資材配給ニ付テ色色謂ハバ優先的措置ヲ執ル譯デアリマス、其ノ場合ニ、是等モ本當ニ公正ニ、國ノ謂ハバ代行的機關トモ見ルベキモノデアリマスカ、私心ヲ去ツテ、本當ニ正シイ道ヲ踏ンデ行カナケレバナラヌト思フノデアリマス、唯抽象的ノ御話デゴザイマスカ、是カラサ

ウ云フヤウナコトノナイヤウニ、漁聯ト云ハズ、各種團體等ノ業務執行ニ當リマシテハ嚴正ニ指導督勵シテ参リタイト考ヘテ居リマス

○濱地委員 魚類ノ配給ニ付テアリマスガ、鮮魚ハ實際問題トシテ今ハ全部はハ間相場デアリマス、是ハ多分當局モ分ツテ居ルコトダラウト思ヒマスガ、間相場デナイ場合ニ於テハ不公平ナル分配ガ行ハレテ居ルダケノコトデアツテ、極メテ公平ニ、順調ニ魚類ガ分配サレテ居ルト云フコトハ日本國中殆ドナイノデアリマス、是ハドウ云フ譯カト申シマス、魚類ガ少クテ需要者ガ多クナツタト云フバカリデナクシテ、配給上ニ於ケル缺陷ガ何處カニ潜シテ居ルノデハナイカト思フノデアリマスガ、若シ具體的ニ政府當局御自身ガドウ云フ所ガ缺陷デアアルカト云フコトニ氣ガ付イテ居リマスルナラバ、却テコチラデ承ツテ置キタイト思フノデアリマス

○三浦(一)政府委員 魚類ノ配給ニ付キマシテハ曩ニモ各委員カラ御熱心ナ御發言ガアリ、吾々非常ニ啓發サレタノデアリマスガ、是ハモウ諄々シク農林省ガヤリマシタコトヲ申上ゲル必要ハナカラウト思ヒマス、現在ノ所マデハ兎ニ角小賣ノ段階マデハ一應ノ整理ガ出來タ、小賣ノ段階ニ入りマシテカラモマダ問題ガアラウカト思ヒマスガ、勿論小賣マデ渡スニ付キマシテモ御意見ガ度々アツタノデアリマス、是等ハ十分改善シテ参ラナケレバナラスト思ヒマス、唯小賣ノ段階ニ入りマシテカラモ、今ハ謂ハバ登録制ナルモノデヤツテ居リマスガ、其ノ間尙ホ登録シテ居リマシテモ圓滑ニ入ラス、同時ニ又ソレニ對シテハ特定ノ量ヲ小賣ノ方ニ配給シテ行ツテモ、小賣カラ消費者ニ

渡ル段階ニ於テモ缺陷ガアルト指摘サレルノデアリマス、是等ハヤハリ段々新經濟機構ノ上ニ工夫ヲ凝シテ改善シテ参ルヤウニシタイト思フノデアリマス、登録制ハ東京アタリデヤツテ居ルノデアリマスガ、色々是モマダ足ラス點ガアツテソレデ東京府、警視廳、更ニ農林省等ノ關係者ガ集マリマシテ段々仕組ヲ改善シテ行クト云フコトニナツテ居ルノデアリマス、價格ノ問題等ニ付テ極メテ閣取引ガ横行シテ居ルト云フヤウナ御話モアリマシタガ、是等モ此ノ大戰争ヲ控ヘマシテ、相互ノ力ヲ協セテ國民生活ヲ安固ニスルト云フコトニナルコトガ最モ大事ナ點デアリマス、是等ハ生産者ト云ハズ、配給業者ト云ハズ、官民一體トナツテ守ルベキハ守リ、サウシテシツカリシタ體制ヲ整ヘナケレバナラスト考ヘマス一面精神の訓育方面ニ付テモ十分ニ其ノ教育ガ要望サレル譯デアリマス、即チ物心兩面ニ互ツテ是等ハ協力シ合ツテ、能ク改善方法ヲ執ツテ参リタイト存ジマス

○濱地委員 二、三ノ實例ヲ擧ゲテ質問シタインデアリマスガ、先ヅ鹽ノ關係デゴザイマス、鹽ガナイ爲ニ鮮魚ヲ腐ラシテ居ル例ガアルノデアリマス、即チ鹽ガナイト同時ニ「ガソリン」ガナイ爲ニ、漁村ノ魚類ヲ運ブコトガ出來ズ腐ラシテ居ル例ガアルノデアリマス、又、鰯トカ、鰯ナドノ干乾ヲ軍部カラ買ヒニ來マシテ、之ヲ戰地ニ送ル場合ガアルノデアリマスガ、實際其ノ製造品ヲ見マスト、非常ニ鹽ガ薄イガ爲ニ其ノ干乾ヲ現地マデ運ブ間ニ腐ツテシマフコトガ分ツテ居ル、ソコニ精神的ノ問題カラ云ヘバ議論モアル譯デアリマスガ、ソレヲ商賣人ガ知ツテ居リナガラ賣ツテ居リマス、軍部ハ知ラ

ス顔ヲシテ之ヲ買ウテ居リマス、向フヘ行ケバ腐ツテ行クノデアリマス、是ハ詰リ鹽ガナイ爲ノコトデアアルト思ヒマスガ、鮮魚ヲ運ブ上ニ於キマシテ、鹽ガ少イガ爲ニ非常ニ困ツテ居ルコトヲ御承知デアラウト思ヒマス、此ノ鹽ヲドウ云フ風ニ御考ヘニナツテ居ルカ、又ドウ云フ風ニ御努力シテ戴イテ居ルカラ聴キタイノデアリマス

其ノ次ニ鮮魚ト、或ハ之ニ加工シタルモノノ價格デアリマス、其ノ加工ト云フノハドウノ程度カト申シマス、火ニ一寸焙ツテモ加工品トナツテシマツテ直グニ値ガ上ルノデアリマス、所ガ火ニ焙ツテ加工シテ値ヲ上ゲル、ソレカラ目方賣デアリマスカラ、今度ハ火ニ焙ルノデハ餘リニ多クヲ焙ラズニ、腸ヲ入レテ、大キナ竹ヲ差シテ生焼ケニシテ目方減ラサスヤウニシテ賣ルノデアリマス、ソレモ需要者ニ届クマデハハ腐ツタリ、味が非常ニ變ツタリシテ居ルノデアリマシテ、此ノ加工ノコトニ付キマシテモ、一定ノ、モツトハツキリシタ、モツト實際ニ適當シタ方法ヲ御考ヘ下サランコトヲ願フノデアリマス、之ニ付キマシテモ御意見ヲ承ツテ置キタイノデアリマス、同時ニ經節デアリマスガ、多分本年度ハ經節ガ殆ドナクナルデアラウト私共ハ思ツテ居ルノデアリマシテ、ナクナツタ場合ニ於テハ重要水産食糧品ノ中核ヲナス經節ガナクナルト云フコトハ、國民ノ營養狀態ニ非常ナ關係ヲ特ニ農山村ニ及ボスデアラウト思フノデアリマス、ソレカラ假リニアツタ所デ此ノ經節ハ極メテ粗製ナ經節デ、一寸加工シタト云フコトサヘ分ツテ居レバ、ソレデ經節トシテ賣レルノデアリマス、大體經節ト云フモノハ微ヲ附ケテ拵ヘルモノデアリ

マスガ、五番微ト申シマシテ五遍微ヲ附ケナケレバ本當ノ經節トハナラナイ、所ガ最近ハ三番微ト稱シテ三遍シカ微ヲ附ケナイ、更ニ極メテ最近ニ於テハ少シモ微ヲ附ケナイ、サウシテ道中微ト云ツテ半乾キニナツタ經節ヲ消費地ニ送ル間ニ小包ノ中デ微ガ出來ル、ソレヲ道中微ト稱スル、所ガ此ノ微ハ本當ノ經節製造ニ必要ナ微デナクシテ惡イ微ナノデス、決シテ經節ノ微デハナイノデス、ガカラ買ウタ人ハヒドイ目ニ遭ツテ、チツトモダシガ出ナイ、經節ノ値打ト云フモノハ絶對ニナイ、寧ロサウ云フコトヲシテ殆ド腐ツタヤウナ經節ヲ賣ル位ナラバ、モツト何カ宜キ方法デ、生デ送ルトカ、或ハ本當ノ經節ヲ造ツテ賣ルト云フコトデ、經節ノ製造上ニ合理的ナ方法ヲ見出シテ戴カナケレバナラナイト思フノデアリマスガ、經節ニ對シテ政府ガ検査カ何カラ行フ趣旨アリキヤ否ヤト云フコトヲ序ニ承ツテ置キタイノデアリマス

○三浦(一)政府委員 鹽ノ問題デアリマスガ、是ハ前ニモ私一寸御説明申上ゲタノデアリマシテ、大藏省ノ專賣局等ニ折衝シテ居ルコトデアリマスガ、實ハ昨年ハ食鹽ガ非常ニ減産シタノデアリマス、デアリマスカラ、大藏省デモ已ムヲ得ズ鹽ノ割當制度ト云フヤウナモノヲ斷行セラレタ譯ダト思ヒマス、從來デゴザイマス、此ノ漁業鹽ナドハ最モ優先的ニ豐富ニ供給ヲ受ケタモノデアリマス、隨ヒマシテ鹽ノ事情ガ緩和シマスレバ、勿論大藏省モ其ノ確保ニ一層力ヲ注イデ下サルコトト確信シマス、同時ニ又農林省トシマシテモ大藏省ニ格段ノ御盡力ヲ願ツテ、食料鹽並ニ漁業鹽ノ確保ニ工夫ヲ凝シテ戴キタイ、斯ウ考ヘテ居リマ

ス、御説ノ如ク鹽ガ足りナイ爲ニ、製品等ニ付キマシテモサウ云フ缺陷ノ生ズルコトガアラウカト思ヒマスガ、是等ハ能ク專賣局等ニモ御話シマシテ改善シテ参リタイト思ヒマス

ソレカラ加工品ノ値段ニ付テ色々適切ナル例ヲ引カレマシテ御話ガアツタノデスガ、實ハ理窟カラ申シマス、日本ノ食品ハ非常ニ數ガ多イノデアリマス、ソレヲ何モ制限セズニ置イタラ宜イデハナイカト云フ御議論モ間々アル譯デアリマス、所ガ、サウシマス、ドンノ値上リシテ参リマス、ソレデハ到底國民ノ朝晩ノ食膳ヲ安定シタモノニスル譯ニ行カス、餘リニモ價格ガ暴騰シテ來ルト國民生活ニモ脅威ガ與ヘラレト云フノデ、先ヅ重點主義デ段々ヤツテ來タノデアリマス、所ガサウシマスルト、從來ノヤリ方ト云フモノハ、一定ノ規格ノモノガ或ル程度ノ値段デ出テ來ルコトヲ前提ニシテ居ルノデアリマス、所ガ品物ガ不足ナ爲ニ買フ方デハ何デモ欲シイ、賣ル方デハソレヲ奇貨居クベシトナス、斯ウ云フ譯デモナイノデセウケレドモ、サウ云フ心理デ以テ段々粗悪ナモノヲ造ル、斯ウ云フ風ニナツテ來ル譯デアリマス、ソコデ加工品ノ如キモ實ハ特定ノ規格ノモノダケヲ造ルト云フコトガ嚴正ニ營業者ノ間デ行ハレ、ソレヲ生産スルト同時ニソレニ適切ナル値段ヲ定メテ行クト云フ風ニ嚴格ニ行ハレト非常ニ宜イ譯デスケレドモ、新製品ニ次ガ新製品ヲドンノ造ツテ行クト云フコトデ、到底所期ノ目的ヲ達シナイト云フコトガ現在ノ食品ニ於ケル實情ダラウト思フノデス、簡單ニ規格ヲ統一シマシテ、ソレニ應ジタ生産ガ出來ルト云フ仕組ニナ

リマスト最モ好マシイ譯デアリマスガ、是等ハヤハリ業界ノ方ノ十分ナル時局ニ對スル認識ト協力ヲ俟チマシテ、サウシテソレヲ中心ニシテ施策ヲ加ヘテ行クト云フコトニシテ参リタイト考ヘマス、御説ノヤウニ輕節ナドモ粗悪品ニナツテ参ルト云フコトガ、今申上ゲタヤウナコトカラ段々出テ参リマス、吾々ハ一ツモ之ヲ期待シテナイ譯デアリマス、是ハ一ツ業界方面デモガウツチリシタ考ヘヲ持ツテ、同時ニソレヲ基礎ニシテ生産モシテ参リ、價格モ公正ニシテ参ルト云フ風ニ進ンデ参リタイ、斯ウ考ヘテ居リマス

○松田(喜)委員 一寸關聯シテ……只今次官ノ御話ニナリマシタ點ハ洵ニ御尤モナコトデアリマス、私共ガ一番心配シテ居リマスノハ、凡ユル加工品、生産品ガ歐洲前大戰ノ後ニハ非常ニ粗製濫造ノ物ガ澤山ニ出來タ、非常ニ製品ガ惡化シタノデアリマス、今同此ノ大東亞建設ニ際シマシテ其ノ點ハ如何カト申シマス、私ハ水産加工品ダケヲ言フノデアリマス、セス、凡ユル物ガ兎ニ角濫造デス、只今濱地君ガ一例ヲ言ヒマシタガ、凡ユル方面ニ互ツテサウ云フ物ガ盛ンニ出來テ居ツテ非常ニ困ル、此ノ不經濟ナコトハ數字デハ述モ言ヘナイト思ヒマス、一方デヤカマシク言ハレテ居ル閣下引以上ノ弊害ガアリマス、精神ニ於テソレ以上ニ惡イ、粗製濫造ノ爲ニ起ルコトデス、是ハ水産加工品ダケトハ申シマセス、凡ユル方面ニサウ云フ狀態ガ現ハレテ居リマスルガ、斯クノ如キデアツタナレバ、大東亞ヲ建設スル上ニ於テ日本ガ指導シテ行クト云フ精神ハ全然滅却サレシマフ、是デハ困ツタモノダト思ツテ居リマスガ、此ノ點ニ付

テ如何ニ御考ヘニナツテ居ルカ、御伺ヒシテ見タイト思ヒマス

○三浦(一)政府委員 三千年以來初メテノ大戰争デアリ、民族ノ運命ヲ賭シテノ大キナ戰爭ナノデアリマス、隨ヒマシテ此ノ戰爭カラ起ル所ノ影響ト云フモノハ、御説ノ通り非常ニ深刻ナモノガアラウト思ヒマス、之ヲ切抜ケルニハヤハリ經濟施策等ニ付キマシテモ億兆一心ニナツテ進ンデ参ルト云フコトガ根本義デアリマス、隨テ小ハ一加工品デアリマシテモ業界デ之ヲ宜シトスルナラバ其ノ規格ニ從フ、同時ニ其ノ價額ニシテ適正ナリトスルナラバ、ソレニ從ツテ參ル、ソレニ基イテ配給モスルト云フ風ニ段々進マナケレバナラスコトダラウト思ヒマス、其ノ際ニ勿論政府ノ價格ノ決定ノ仕方ガ拙イ、或ハ規格ノ決定ノ仕方ガ適切デナイト云フナラバ、是ハモウ十分ニ民間ノ意向等ヲ聽イテ直シテ参ルトコトガ必要ダラウト思ヒマス、同時ニ又其ノ加工品ヲ造ルニ當リマシテ、勿論營業デモアリマセウガ、是ガ國民生活ニ及ボス影響、又同時ニ其ノ國民生活ニ及ボス影響ガ非常ニ至メラレモシテ、結局大戰争遂行ニ非常ナ支障ヲ來スト云フコトニモナリマスノデ、是等ノ點ヲ能ク考ヘテ難局ヲ切抜ケテ大戰争ヲ遂行スル爲ニハ、本當ニ日本精神ニ徹シタ考ヘデ進ンデ戴カナケレバナラスモノダト思ヒマス、之ニ付キマシテハ農村方面デハ例ノ増産報國運動、又商業關係ニ付テモ商業報國ノ運動ヲ展開シテ大イニ推進シテ參ツテ居リマスガ、何ト云ヒマシテモ精神ノ方面ガシツカリシテ居ラナケレバ國本ガ培ヒ得ナイ所以ダト思ヒマス、十分其ノ點ニ付キマシテモ一般ノ御協力ヲ藉リタ

イト考ヘテ居リマス

○濱地委員 モウ一ツダケ伺ツテ置キタイノデスガ、先程次官カラ仰シヤツタコトニ關係シマシテ、此ノ儘デ行ツタ來年度ニ於ケル漁獲ハモウ殆ドナクナツテ來ルノデハナイカト思フノデス、アツテモ東京ノ人ヤ大阪ノ人ハ食ヘナイノデハナイカト思フノデアリマス「ガソリン」ガ是レ以上ナクテ、ソレカラ鉛ガナクテ、網ガナクテ「カーバイト」ガナクテ、サウシテ漁獲ヲ増加セシメル對策ト云フモノハ私ハ殆ドナイノデハナイカト思フノデアリマスガ、此ノ際水産局長ノ漁獲ヲ増加セシメル對策ヲ、參考ニ承ツテ置キタイト思フノデアリマス

○平岡政府委員 御話ノヤウニ非常ニ資材ガ不足致シテ参リマシタノデ、資材其ノモノノ獲得ト云フコトニ付テモ、吾々非常ナ努力ヲ致シテ居リマス、ソレカラ又斯ウ云フ南ノ方ガ段々狀態ガ良クナツテ参リマス、遠カラズサウ云フコトガ幾分デモ緩和サレルト云フ、少クモ期待ハ持ツテ居ル譯デアリマスガ、差當リドウ云フ對策ヲ執ツテ居ルカト申シマス、昨年御承知ノヤウニ第二豫備金デ三百四、五十萬圓取リマシタ、又本年モ殆ド同様ノ金額ハ少シ豫備金ヨリ少クナツテ居リマスガ、大體項目ハ漁法ノ轉換ダトカ、色々ナ漁獲ノ方法ダトカ、集魚燈ダトカ、是ハ十分御承知ダラウト思ヒマスガ、動力船ノ瓦斯船化ダトカ、帆船船ニシテ見タリ、ソレカラ沿岸漁業ニ付テハ築磯ノ問題ヤ外敵驅除、内灣耕耘トカ、サウ云フヤウナコトヲヤル爲ニ昨年ト本年ト同様ノ項目ニ互ツテ五百萬圓以上ノ金ヲ出スコトニナツテ居リマス、ソレデ辛ウジテ對策ヲ講ジテヤツテ参ラウ、斯ウ云フ次第デ

ゴザイマス

○森委員長代理 是デ本日ハ散會致シマス、

明日ハ午後一時カラ開會致シマス

午後零時十二分散會

昭和十七年二月五日印刷

昭和十七年二月六日發行

衆議院事務局

印刷者 内閣印刷局